

6011-1447  
令和2年9月1日

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和2年度病害虫発生予察注意報第7号について

令和2年度病害虫発生予察注意報第7号を発表したので送付します。

## 令和2年度病害虫発生予察注意報第7号

**急激なトビイロウンカの増加がみられ、昨年同様、特に飼料用米及び飼料用稲での坪枯れが懸念されますので、適期防除の徹底に努めましょう。**

病害虫名 トビイロウンカ

作物名 飼料用米及び飼料用稲（普通作型）

1. 発生地域 県内全域

2. 発生程度 多

3. 発生状況と注意報の根拠

(1) 県内に設置した予察灯では、7月1～2半旬にかけて、トビイロウンカのまとまった飛来が確認され、その後も断続的に誘殺が確認されている。7月1半旬から8月3半旬における県内予察灯のトビイロウンカの累積誘殺数合計は、727頭（平年30.4頭、前年93頭）で過去10年で最も多い（図1）。

(2) 8月下旬の主食用普通期水稻巡回調査（41地点）における発生面積率は65.9%（平年59.1%、前年100%）で平年並、株当たり虫数は10.69頭（平年1.41頭、前年4.96頭）で平年比多の発生であった（図2、図3）。なお、41地点中1地点では、株当たり240頭以上の甚発生が確認された。

(3) また、短翅型雌成虫（産卵数が多い）の株当たり虫数は0.07頭となり、過去10年間で、3番目に多い（図4）。このため、今後、生息密度が急激に高まる恐れがある。

(4) 鹿児島地方気象台が8月27日に発表した向こう1か月の気温（8月29日～）は、高い確率が80%と予想されていることから、本種の増殖に好適な状況が続くと考えられる。

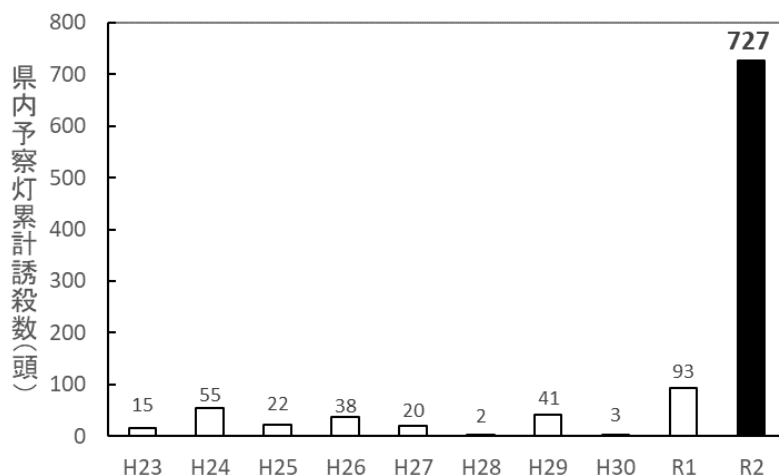


図1 県内各予察灯におけるトビイロウンカの累積誘殺数（7月1半旬～8月3半旬）

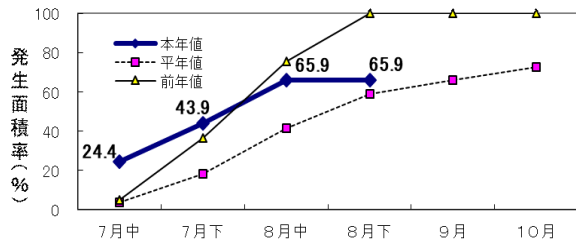


図2 発生面積率の月別推移

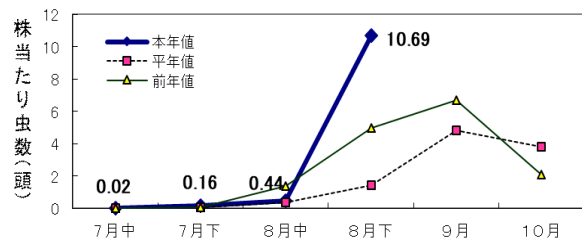


図3 株当たり虫数の月別推移

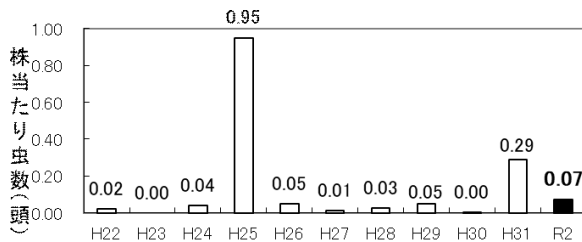


図4 トビイロウンカの株当たり短翅型雌成虫数の年度別推移(8月下旬)

#### 4. 防除上の注意

(1) トビイロウンカは水田に定着後2～3世代増殖を繰り返し、急激な密度上昇により収穫期頃に大きな被害を及ぼす。令和元年産の飼料用米及び飼料用稲においても、**坪枯れが多く確認された。**

トビイロウンカの飛来が多く確認された7月上旬を主要飛来と想定した場合、第3世代の防除適期(幼虫期前半)は、9月中旬以降と予想されるが(別紙参照)、これまで世代交代が繰り返されたことにより、**ほ場内に全ての世代(卵～成虫)が確認されている。**

(2) **本田防除を行っていないほ場については、防除適期にかかわらず直ちに防除を行う。**また、**防除が困難なほ場は早期収穫を行う。**

既に本田防除を行ったほ場においても、その後の発生状況を確認し、密度が高ければ直ちに追加防除を行うなど、防除の徹底を図る。

(3) トビイロウンカは株元に生息するため、**薬剤は株元に十分到達するよう散布する。**

(4) 薬剤の散布に当たっては、薬剤ごとの総使用回数や使用時期(収穫前日数)に十分注意する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

(5) 飼料用米及び飼料用稲の防除に当たっては、「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」及び「飼料として使用する粃米への農薬の使用について」、「飼料の有害物質の指導基準及び管理基準について」に沿って、適期防除に努める。

※その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局(農業改良普及センター)、総合農業試験場生物環境部、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

＜連絡先＞  
宮崎県病虫害防除・肥料検査センター 阿萬  
TEL:0985-73-6670 FAX:0985-73-2127  
ホームページ: <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>  
E-mail: [byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp](mailto:byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp)

【参考資料】



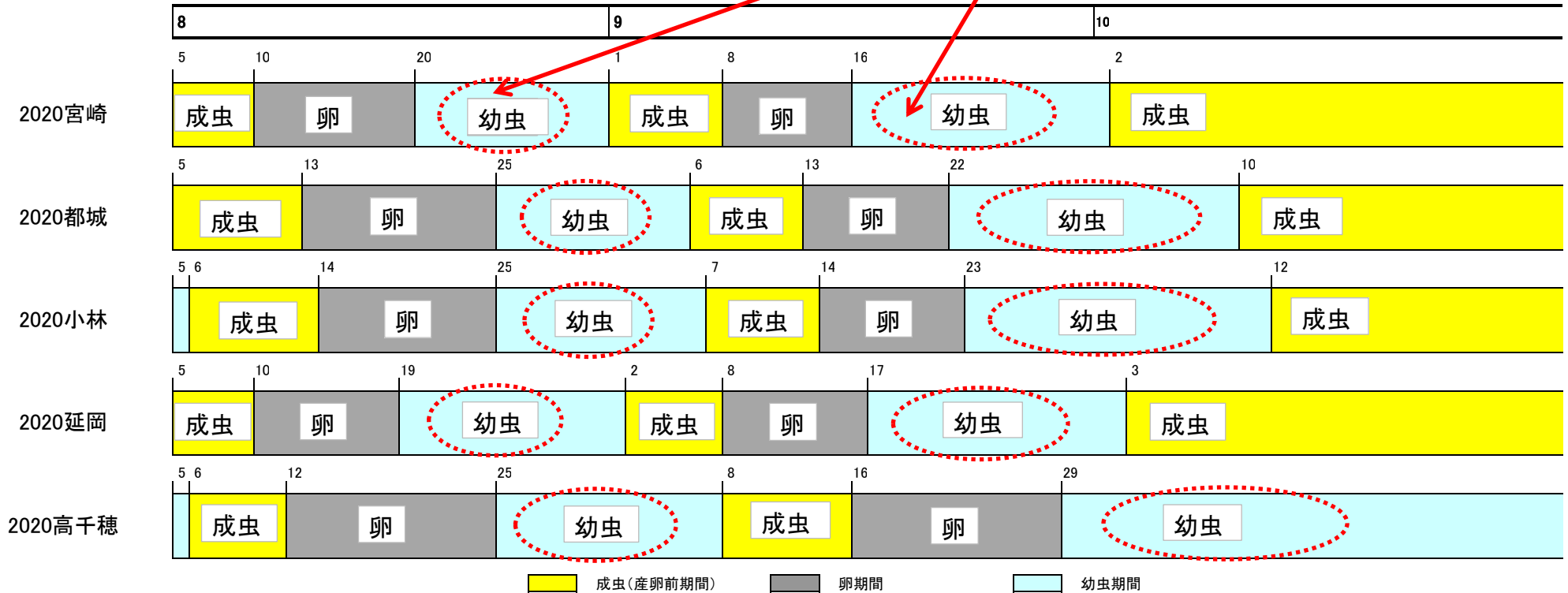
写真1 坪枯れの発生状況（2019年8月29日撮影）



写真2 株元を加害するトビイロウンカ（2019年8月29日撮影）

# 2020 トビイロウンカの発生世代予測(7月5日飛来)

防除適期



各発生世代別の防除適期は次のように予測されます

地域	飛来時期	第1世代の防除適期	第2世代の防除適期	第3世代の防除適期
2020宮崎	7月5日	7月23日 ~ 7月30日	8月22日 ~ 8月29日	9月18日 ~ 9月27日
2020都城	7月5日	7月23日 ~ 7月31日	8月27日 ~ 9月3日	9月24日 ~ 10月5日
2020小林	7月5日	7月23日 ~ 8月2日	8月27日 ~ 9月3日	9月26日 ~ 10月6日
2020延岡	7月5日	7月24日 ~ 7月31日	8月22日 ~ 8月29日	9月19日 ~ 9月28日
2020高千穂	7月5日	7月24日 ~ 8月2日	8月27日 ~ 9月4日	10月2日 ~ 10月21日

各世代発生始期予測

世代	Stage	地域別発生始期				
		2020宮崎	2020都城	2020小林	2020延岡	2020高千穂
初期侵入世代	成虫	7月5日	7月5日	7月5日	7月5日	7月5日
	卵	7月11日	7月12日	7月12日	7月12日	7月13日
第1世代	幼虫	7月21日	7月21日	7月21日	7月22日	7月22日
	成虫	8月2日	8月5日	8月6日	8月3日	8月6日
	卵	8月10日	8月13日	8月14日	8月10日	8月12日
第2世代	幼虫	8月20日	8月25日	8月25日	8月19日	8月25日
	成虫	9月1日	9月6日	9月7日	9月2日	9月8日
	卵	9月8日	9月13日	9月14日	9月8日	9月16日
第3世代	幼虫	9月16日	9月22日	9月23日	9月17日	9月29日
	成虫	10月2日	10月10日	10月12日	10月3日	6月2日

※7月5日にまとまった飛来が確認されたため、7月5日飛来を主要飛来と想定し、起算日とした。気温は8月26日までは本年値、それ以降は各地域の平年値を参考にした。  
 なお、実際の世代交代は今後の気温の推移等により異なる場合がある。  
 ※発生世代予測は「有効積算温度による海外飛来性害虫の発生予測支援システムVer. 6.00 (S.TERAMOTO)」より算出。